



TOYOAKE CITY  
**第6次**  
**豊明市総合計画**  
 2026—2031

**第2章 基本構想**

**まちの未来像**

本市を取り巻くさまざまな課題解決に向けて、行政だけではなく、市民や事業者など本市に関わるすべての人たちが一歩となってまちづくりに取り組むための共通の理念です。



**未来へつなぐ みんなでつくる  
 しあわせのまち とよあけ**

**未来へつなぐ**

一人ひとりの取り組みによって「今」の豊明市を**より良いまちへ発展**させながら、**自然や歴史**などの環境だけでなく、人や地域の**想**いもそれぞれの世代が次世代に**受け継ぎ、持続可能**な「未来」を築きます。

**みんなでつくる**

「作る」「創る」「造る」など、人によってつくるものに違いはあれど、年齢や性別、障がいの有無、異なる文化及び国籍などを問わず**多様な価値観を尊重**し合いながら、**人と人がつながり、支えあ**い、まちづくりに関わることで、**活気あふれる**地域づくりを目指します。

**しあわせのまち**

物質的な**豊かさ**だけではなく、**精神的な満足感、安心感、人間関係の充実**など、誰にでも**居場所**があり、地域全体が**心地よく暮らす**ことができ、**笑顔**があふれ、それぞれの「しあわせ」を実感できるまちを目指します。

## 第2章 基本構想



### 市民幸福度

本計画の最終的な成果は、基本計画によって実施されるさまざまな取り組みによって生み出されますが、市民の幸せを政策の成果として市民が実感できるよう、最上位の指標として「市民幸福度」を設定します。本市に暮らす市民の幸福度を、10点満点の主観的評価の平均として、2031年度の市民幸福度**6.77点以上**を目標として定め、ウェルビーイング(身体的・精神的・社会的に良好な状態)の向上を目指します。

6.77点以上が  
目標！

●年代別の幸福度の回答比率と平均幸福度 ※黄色は各年代で最も回答比率が高い得点

とても不幸 ← とも不幸 とも幸せ →

年代	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	合計 (%)	平均幸福度
20代以下	0.6	0.3	0.8	1.7	4.8	19.9	12.6	25.2	16.8	6.7	9.5	100.0	6.75
30代	0.4	0.0	0.0	4.1	7.4	18.0	9.0	20.1	20.9	6.6	13.5	100.0	6.88
40代	0.0	1.2	2.4	2.8	3.6	21.8	9.1	22.2	19.8	5.6	10.3	100.0	6.68
50代	0.0	1.7	0.7	3.3	4.7	25.0	8.7	19.0	21.3	6.0	8.0	100.0	6.57
60代	0.0	0.4	1.8	0.7	4.0	23.4	12.5	17.2	22.7	6.2	9.2	100.0	6.76
70代以上	0.0	0.4	0.7	1.9	3.3	20.1	12.6	14.5	23.4	10.4	10.4	100.0	6.99
全体	0.2	0.6	1.1	2.4	4.6	21.5	10.8	19.9	20.6	6.9	10.1	100.0	6.77

出典:現状調査(2025年5月)

## 第2章 基本構想



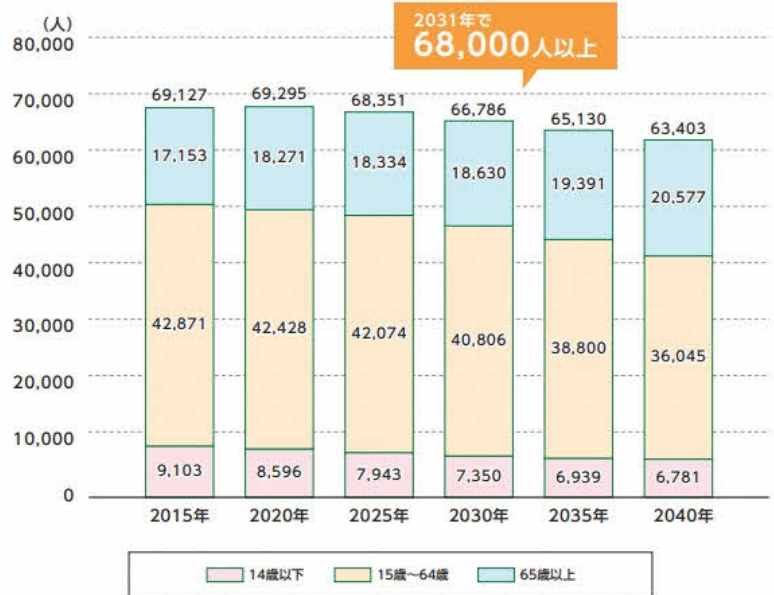
### 将来人口

全国的に人口減少が進む中、国立社会保障・人口問題研究所によれば本市も2040年には63,000人程度まで減少すると推計されています。

これに対し、市外流出人口の抑制と市内に住み続けることができる受け皿を確保することを目的とした土地区画整理事業を実施しており、道路、公園などの都市基盤と居住環境の整備を図るとともに宅地の利用増進を目指しています。

さらに、本計画に基づき子育てしやすく、住みやすいまちづくりを積極的に推進します。そのため、2031年時点で**68,000人以上**を目標とします。

将来人口の推移



※2015年、2020年は実績値です。  
※年齢3区分別の人口は、推計値のため四捨五入の関係で合計と一致しない場合があります。

出典:国立社会保障・人口問題研究所

# 第2章 基本構想



## 計画の構成と期間

本計画は、基本構想、基本計画、実施計画で構成します。



## 施策体系図

まちの未来像  
未来へつなぐ  
みんなでつくる  
しあわせのまち  
とよあけ

### 戦略1 こどもの育ちと学び創生プロジェクト(育み・学び)

めざすまちの姿 <b>1</b>	こどもが心豊かに育ち、子育て世代が住み続けられるまち	単位施策 こども支援 子育て支援 保 育
めざすまちの姿 <b>2</b>	多様性を尊重した学びの場が広がり、子どもたちが一人残らず心満たされるまち	単位施策 学校教育 教育施設 子どもの居場所づくり

### 戦略2 暮らしの安心創生プロジェクト(支えあい)

めざすまちの姿 <b>3</b>	医療や介護の環境が整っており、誰もが安心して暮らせるまち	単位施策 健康保険 福祉医療 介護保険
めざすまちの姿 <b>4</b>	人と人が寄り添い、つながりながら支えあうまち	単位施策 高齢者福祉 障がい福祉 地域福祉
めざすまちの姿 <b>5</b>	誰もが健康で楽しく活動できるまち	単位施策 健康推進 生涯学習・図書 文化・スポーツ

### 戦略3 安全で快適な地域環境創生プロジェクト(住みやすさ)

めざすまちの姿 <b>6</b>	お互いを尊重し、それぞれの個性や強みを活かしてつながりあえる安全安心なまち	単位施策 協働・参加・共創 ダイバーシティ 防災・強靱化 交通・防犯
めざすまちの姿 <b>7</b>	気軽に外出でき、生活しやすいきれいなまち	単位施策 環 境 ご み 公共交通
めざすまちの姿 <b>8</b>	いつまでも住み続けられる、安全で快適なまち	単位施策 公園・緑地 道 路 土地利用・住宅 下水道 河川・ため池

### 戦略4 ひとが集うまち創生プロジェクト(賑わい)

めざすまちの姿 <b>9</b>	歴史や文化が受け継がれ、地元愛あふれ訪れたいくなるまち	単位施策 観 光 歴史・伝統文化
めざすまちの姿 <b>10</b>	自分らしく働く場所があり、産業が盛んな活気あるまち	単位施策 商 工 業 農 業

### 行政推進項目

- 1 市民サービスを向上する
- 2 情報収集と発信を積極的に行う
- 3 効果的・効率的な行政運営を行う
- 4 健全な財政運営を行う
- 5 働きやすい環境づくりと人材育成を推進する
- 6 公正な行政運営を保つ

# 1 こどもが心豊かに育ち、子育て世代が住み続けられるまち

単  
位  
施  
策

こども支援

子育て支援

保 育

## まちづくり指標

指標名	現状値 (2024年度)	めざそう値 (2031年度)
子育てしやすいまちだと思う市民の割合	69.7%	74.6%
子育て支援・補助が充実していると思う市民の割合	54.2%	61.6%

## 成果指標

主観	1-1	こども支援	「こどもの権利」が十分に尊重されていると思う市民の割合	%	68.4	76.1	↑
主観	1-2	子育て支援	子育ての悩みなど、相談する場を知っている市民の割合	%	62.1	68.3	↑
客観	1-3	保育	待機児童数 (潜在的待機児童数を含む)	人	85	0	↓

# 3 医療や介護の環境が整っており、誰もが安心して暮らせるまち

単  
位  
施  
策

健康保険

福祉医療

介護保険

## まちづくり指標

指標名	現状値 (2024年度)	めざそう値 (2031年度)
安心して医療機関を受診できる環境が整っていると思う市民の割合	81.2%	84.2%
介護が必要になったときに活用できるサービスを知っている市民の割合	44.5%	58.0%

## 成果指標

主観	3-1	健康保険	ジェネリック医薬品の利用等により医療費削減に努めている市民の割合	%	75.0	79.0	↑
客観	3-1	健康保険	マイナ保険証利用率 (国民健康保険)	%	31.0	65.0	↑
客観	3-1	健康保険	マイナ保険証利用率 (後期高齢者医療保険)	%	42.3	75.0	↑
客観	3-1	健康保険	特定健診受診率 (国民健康保険)	%	40.8	52.5	↑
客観	3-1	健康保険	特定健診受診率 (後期高齢者医療保険)	%	35.7	50.0	↑
主観	3-2	福祉医療	医療費助成制度が充実していると思う市民の割合	%	58.6	68.4	↑
客観	3-3	介護保険	介護施設・事業所の数	か所	86	89	↑

# 2 多様性を尊重した学びの場が広がり、子どもたちが一人残らず心満たされるまち

単  
位  
施  
策

学校教育

教育施設

子どもの居場所づくり

## まちづくり指標

指標名	現状値 (2024年度)	めざそう値 (2031年度)
自分の良いところを知っている子どもの割合	82.3%	86.7%
積極的に自分の好きなことを見つけて取り組んでいる子どもの割合	89.2%	91.9%
教室や体育館は使いやすいと居心地が良いと思う子どもの割合	85.4%	89.1%

## 成果指標

主観	2-1	学校教育	学ぶことが楽しいと思う子どもの割合	%	76.4	82.3	↑
主観	2-1	学校教育	前よりも勉強や運動ができるようになったと思う子どもの割合	%	86.8	90.1	↑
主観	2-1	学校教育	給食の時間が楽しいと思う子どもの割合	%	90.6	93.0	↑
主観	2-2	教育施設	教育環境が整っていると思う市民の割合	%	58.2	67.2	↑
主観	2-2	教育施設	教育環境が整っていると思う保護者の割合	%	56.5	67.1	↑
主観	2-2	教育施設	安心して子どもが給食を食べることができると思う保護者の割合	%	90.3	92.6	↑
主観	2-3	子どもの居場所づくり	自分が安心して過ごせる居場所がある子どもの割合	%	95.6	96.7	↑
主観	2-3	子どもの居場所づくり	祭りや子ども会など、地域の活動に参加している子どもの割合	%	70.4	77.8	↑

# 4 人と人が寄り添い、つながりながら支えあうまち

単  
位  
施  
策

高齢者福祉

障がい福祉

地域福祉

## まちづくり指標

指標名	現状値 (2024年度)	めざそう値 (2031年度)
困ったときに相談できる人が身近にいる市民の割合	63.8%	68.2%
高齢者が地域で安心して暮らしていると思う市民の割合	66.3%	71.7%
障がい者が地域で安心して暮らしていると思う市民の割合	55.4%	62.4%
要支援者の1年後の重症化率	23.8%	25.2%

## 成果指標

客観	4-1	高齢者福祉	介護予防事業の参加者数	人	36,177	37,200	↑
客観	4-2	障がい福祉	障がい福祉サービスの利用者数	人	794	1,200	↑
客観	4-2	障がい福祉	福祉施設から一般就労への移行者数	人	17	20	↑
客観	4-3	地域福祉	ゲートキーパー養成人数	人	270	1,000	↑
客観	4-3	地域福祉	生活保護受給者等の就労人数	人	26	35	↑

5

誰もが健康で楽しく活動できるまち

単  
位  
施  
策

健康推進

生涯学習・図書

文化・スポーツ

まちづくり指標

指標名	現状値 (2024年度)	めざそう値 (2031年度)
健康寿命(平均自立期間)	男性 82.0歳 女性 85.5歳	男性 84.0歳 女性 86.6歳
市内で学びたいことが学べる機会があると思う市民の割合	46.8%	53.2%
生きがいを持っている市民の割合	65.4%	69.5%

成果指標

主観	5-1	健康推進	健診や食事、たばこ、飲酒、運動等に 関心を持ち、改善・増進に向けて取り組 んでいる市民の割合	%	66.8	70.8	↗
客観	5-1	健康推進	がん検診受診率男性	%	27.9	31.0	↗
客観	5-1	健康推進	がん検診受診率女性	%	24.9	28.5	↗
客観	5-2	生涯学習・ 図書	とよあけ市民大学「ひまわり」の受講 者数	人	27,950	30,000	↗
客観	5-2	生涯学習・ 図書	公民館講座等の受講者数	人	481	550	↗
客観	5-2	生涯学習・ 図書	南部公民館利用率	%	10.5	30.0	↗
主観	5-2	生涯学習・ 図書	本を読むことが好きな市民の割合	%	54.1	59.7	↗
主観	5-2	生涯学習・ 図書	本を読むことが好きな子どもの割合	%	71.0	78.3	↗
主観	5-3	文化・ スポーツ	スポーツを楽しむことができる 市民の割合	%	48.6	59.7	↗
主観	5-3	文化・ スポーツ	スポーツを楽しむことができる 子どもの割合	%	80.4	85.3	↗
主観	5-3	文化・ スポーツ	文化活動に親しむ機会があると思う 市民の割合	%	41.7	48.9	↗

6

お互いを尊重し、それぞれの個性や強みを  
活かしてつながりあえる安全安心なまち

単  
位  
施  
策

協働・参加・共創

ダイバーシティ

防災・強靱化

交通・防犯

まちづくり指標

指標名	現状値 (2024年度)	めざそう値 (2031年度)
身近につながりがあると思う市民の割合	65.4%	69.6%
日頃から地域や家庭で防災対策をしている市民の割合	55.9%	63.0%
防犯対策(交通・街灯・防犯カメラ・地域の見守りなど)が 整っており、治安が良いと思う市民の割合	49.0%	57.2%

成果指標

主観	6-1	協働・参加・ 共創	地域に愛着をもち、地域の活動に参 加している市民の割合	%	40.2	47.5	↗
客観	6-1 <td>協働・参加・ 共創</td> <td>カラット施設利用率</td> <td>%</td> <td>50.4</td> <td>56.0</td> <td>↗</td>	協働・参加・ 共創	カラット施設利用率	%	50.4	56.0	↗
客観	6-1 <td>協働・参加・ 共創</td> <td>町内会の加入率</td> <td>%</td> <td>69.9</td> <td>69.9</td> <td>→</td>	協働・参加・ 共創	町内会の加入率	%	69.9	69.9	→
主観	6-2 <td>ダイバー シティ</td> <td>多様性について理解している市民の 割合</td> <td>%</td> <td>69.4</td> <td>73.0</td> <td>↗</td>	ダイバー シティ	多様性について理解している市民の 割合	%	69.4	73.0	↗
主観	6-3 <td>防災・ 強靱化</td> <td>災害時に個人でできる備えを行って いる市民の割合</td> <td>%</td> <td>58.0</td> <td>64.8</td> <td>↗</td>	防災・ 強靱化	災害時に個人でできる備えを行って いる市民の割合	%	58.0	64.8	↗
客観	6-3 <td>防災・ 強靱化</td> <td>他自治体及び民間との災害に関する 協定の数</td> <td>件</td> <td>97</td> <td>104</td> <td>↗</td>	防災・ 強靱化	他自治体及び民間との災害に関する 協定の数	件	97	104	↗
客観	6-3 <td>防災・ 強靱化</td> <td>消防団充足率</td> <td>%</td> <td>76.0</td> <td>85.0</td> <td>↗</td>	防災・ 強靱化	消防団充足率	%	76.0	85.0	↗
客観	6-4 <td>交通・防犯</td> <td>犯罪発生件数</td> <td>件</td> <td>409</td> <td>324</td> <td>↘</td>	交通・防犯	犯罪発生件数	件	409	324	↘
客観	6-4 <td>交通・防犯</td> <td>交通事故発生件数</td> <td>件</td> <td>195</td> <td>182</td> <td>↘</td>	交通・防犯	交通事故発生件数	件	195	182	↘

7

気軽に外出でき、  
生活しやすいきれいなまち

単  
位  
施  
策

環 境

ご み

公共交通

まちづくり指標

指標名	現状値 (2024年度)	めざそう値 (2031年度)
暮らしている地域の空気や水は澄んでいてきれいだと思う市民の割合	76.3%	79.1%
ごみのリサイクル率	27.8%	29.5%
公共交通機関での市内移動がしやすいと思う市民の割合	52.7%	64.2%

成果指標

主観	7-1	環境	省エネに取り組んでいる市民の割合	%	68.9	72.6	↗
客観	7-1 <td>環境</td> <td>温室効果ガス排出量削減率</td> <td>%</td> <td>21.9</td> <td>46.0</td> <td>↗</td>	環境	温室効果ガス排出量削減率	%	21.9	46.0	↗
客観	7-1	環境	大気中の汚染物質の基準値に対する 観測市の数値	ppm	0.008	0.008	→
客観			mg/ml	0.013	0.013	→	
客観			ppm	0.033	0.023	↘	
主観	7-2	ごみ	ごみの適正処理を心がけている市民 の割合	%	90.1	91.2	↗
客観	7-2	ごみ	一人一日あたりの家庭から排出され るごみの量	g/ 人・日	444	422	↘
主観	7-3	公共交通	公共交通機関での市外への移動が便 利だと思う市民の割合	%	57.7	68.0	↗
客観	7-3	公共交通	ひまわりバスの利用者数	人	171,166	181,500	↗
客観	7-3	公共交通	チョイソコとよあけの利用者数	人	9,204	10,800	↗

8

いつまでも住み続けられる、  
安全で快適なまち

単  
位  
施  
策

公園・緑地

道 路

土地利用・住宅

下 水 道

河川・ため池

まちづくり指標

指標名	現状値 (2024年度)	めざそう値 (2031年度)
便利で快適な住環境が整備されていると思う市民の割合	65.6%	71.1%
身近に自然に親しむことができる場所があると思う市民の割合	71.3%	75.9%
道路での移動がスムーズだと思う市民の割合	68.8%	76.3%

成果指標

主観	8-1	公園・緑地	市内の公園に魅力があると思う市民 の割合	%	44.8	53.8	↗
客観	8-1 <td>公園・緑地</td> <td>墓園利用者数</td> <td>人</td> <td>3,111</td> <td>3,095</td> <td>↘※</td>	公園・緑地	墓園利用者数	人	3,111	3,095	↘※
主観	8-2 <td>道 路</td> <td>道路の維持管理が良好だと思う市民 の割合</td> <td>%</td> <td>63.2</td> <td>72.1</td> <td>↗</td>	道 路	道路の維持管理が良好だと思う市民 の割合	%	63.2	72.1	↗
客観	8-2 <td>道 路</td> <td>道路の整備率</td> <td>%</td> <td>90.0</td> <td>93.5</td> <td>↗</td>	道 路	道路の整備率	%	90.0	93.5	↗
客観	8-3 <td>土地利 用・ 住宅</td> <td>市街化区域内人口の割合</td> <td>%</td> <td>76.5</td> <td>77.1</td> <td>↗</td>	土地利 用・ 住宅	市街化区域内人口の割合	%	76.5	77.1	↗
客観	8-4 <td>下 水 道</td> <td>汚水管きょ耐震化率</td> <td>%</td> <td>72.4</td> <td>81.5</td> <td>↗</td>	下 水 道	汚水管きょ耐震化率	%	72.4	81.5	↗
客観	8-4 <td>下 水 道</td> <td>経費回収率</td> <td>%</td> <td>90.8</td> <td>100</td> <td>↗</td>	下 水 道	経費回収率	%	90.8	100	↗
客観	8-5 <td>河川・ ため池</td> <td>調整池設置数</td> <td>か所</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>↗</td>	河川・ ため池	調整池設置数	か所	1	3	↗

単  
位  
施  
策

観 光

歴史・伝統文化

🌻 まちづくり指標

指標名	現状値 (2024年度)	めざそう値 (2031年度)
豊明市のことを大好きだと思ふ市民の割合	75.3%	78.3%
豊明市の魅力をオススメしたいと思ふ市民の割合	48.1%	54.1%
観光地点等入込客数	61,821人	90,520人

🌻 成果指標

客観	9-1	観光	花マルシェ関連イベントの来場者数	人	1,393	2,550	↗
客観	9-1	観光	ガイドボランティアのガイド実績人数	人	5,087	10,000	↗
主観	9-2	歴史・ 伝統文化	豊明の歴史・伝統文化について関心がある市民の割合	%	42.3	49.4	↗
客観	9-2	歴史・ 伝統文化	ナガバノイシモチンソー一般公開来場者数	人	586	620	↗
客観	9-2	歴史・ 伝統文化	大狭間湿地一般公開来場者数	人	487	520	↗
客観	9-2	歴史・ 伝統文化	歴史民俗資料室来場者数	人	4,268	4,830	↗

単  
位  
施  
策

商 工 業

農 業

🌻 まちづくり指標

指標名	現状値 (2024年度)	めざそう値 (2031年度)
地域経済が活性化していると思ふ市民の割合	27.5%	36.4%
農地が有効に耕作されている面積	461ha	440ha

🌻 成果指標

客観	10-1	商工業	製造品出荷額等	万円	21,058,813	25,000,000	↗
客観	10-1	商工業	商工会会員数	社	1,150	1,220	↗
客観	10-1	商工業	新規起業家数	者	23	25	↗
客観	10-2	農業	新規就農者数	人	6	20	↗
客観	10-2	農業	豊明産農産物の産直所取扱回数	点	160,778	168,800	↗

行政推進項目

1

市民サービスを向上する

2

情報収集と発信を積極的に  
行う

3

効果的・効率的な  
行政運営を行う

4

健全な  
財政運営を行う

5

働きやすい  
環境づくりと  
人材育成を  
推進する

6

公正な  
行政運営を保つ

行政推進項目

1

市民サービスを向上する

🌻 まちづくり指標

指標名	現状値 (2024年度)	めざそう値 (2031年度)
市職員の対応が丁寧で、説明が分かりやすいと思ふ市民の割合	73.3%	76.4%
オンラインや窓口で行政手続きなどをするとき、 手続きがスムーズにできると思ふ市民の割合	64.4%	68.6%
オンライン(電子申請届出システム)の利用件数	9,974件	18,900件

現状と課題

スマートフォンなどのデジタル機器の普及に伴い、社会のデジタル化は急速に進展し、デジタル技術は市民生活に欠かせないものとなっています。

利用の多い証明書を一つの窓口で発行する証明窓口の設置やコンビニ交付など利便性向上に向けた取り組みを進めていますが、行政サービスは窓口での手続きが中心で窓口に行く負担や手続きに要する時間など多くの市民が不便さを感じています。手続きの不便さを解消するため行政手続きのデジタル化を進める必要があります。

一方で、市民一人ひとりのデジタル機器の活用の習熟度によってサービスが受けられなくなることがないようにデジタルデバインド(情報格差)を意識した利便性の向上が求められています。

また、変化する社会情勢を契機とした新しい生活様式・価値観などにより、市民が抱える困りごとや課題は多様化・複雑化しています。市民相談などの相談体制を維持する必要があります。

基本方針

窓口におけるさらなるワンストップサービスの実現に向け、各種証明窓口のあり方を検討するとともに、市民、職員双方の手続きフローやシステムの見直しを進めます。

また、デジタル技術を活用した各種行政手続きのオンライン化やキャッシュレス決済を導入することにより、市役所に行かなくても必要な手続きができるようにするなど、市民目線での利便性向上を図ります。

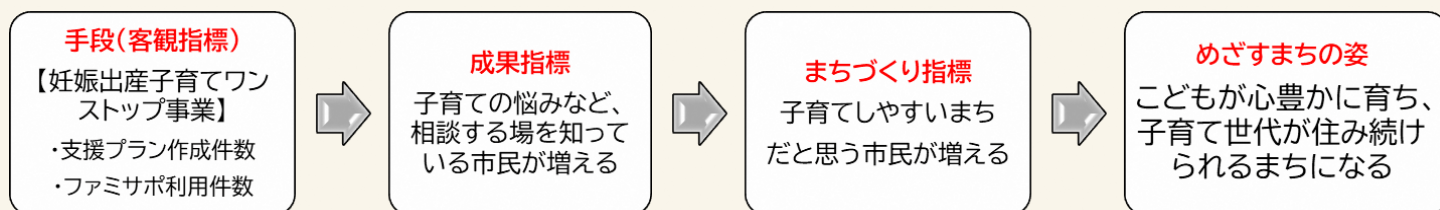
併せて、手続きの申請に必要な情報を広く市民に届けるため、LINEによるセグメント配信<sup>※20</sup>の導入やプッシュ型での情報発信機能を強化します。

市民の困りごとが解消に近づくよう、困ったときに相談できる場の提供とその周知に努めます。

# 計画の今後の進め方

## 1. 各指標を定期的に確認し、実施手段を改善しながら事業の発展につなげます！ 📌

まちづくりの達成状況を図る”ものさし”として、各階層においてそれぞれ指標を設定しました。  
毎年、子どもアンケート及び市民アンケートを実施することでまちづくりの進み具合や市民の皆さまの満足度を数値で確認し、ニーズに合った効果的な施策を展開していきます。  
また、各事業をどれだけ実施したのかなどの実績としての数値も把握し、事業実施の効果を把握します。



# 計画の今後の進め方

## 2. 市民参画型の進行管理を行います！ 📌

計画期間中の各施策の進捗状況や新たな課題など、定期的に市民と行政の双方で確認し、評価・検証を行います。



とよあけ未来カイギ  
を毎年行います！

# 計画の今後の進め方

## 3. 子どもの意見を積極的に取り入れます！👉

第6次豊明市総合計画策定にあたり、中高生など子どもの声を聴き、取り入れてきました。策定後も、意見交換する場を設けるなどして子どもたちから出た意見を施策へ反映していきます。

子どもたちから  
直接意見を  
聴きます！



未来へつなぐ みんなでつくる  
しあわせのまち とよあけ

の実現に向けて  
一人ひとりができることに取り組みましょう！

